

News Release エス・マックス株式会社

東京都中央区日本橋 3-13-11 油脂工業会館ビル 2 階 TEL 03-5204-8720 FAX 03-5204-8722

2012 年 6 月 19 日

「院外処方せん記載に関する医師調査」結果のお知らせ

この度、「院外処方せん記載に関する医師調査」を実施いたしました。「院外処方せん記載に関する医師調査」は、平成 24 年 4 月からの処方せん様式の変更に伴い、医師の院外処方せんの薬剤名記載の実態を正確に把握することが目的で、弊社独自に保有する 560 名の医師に調査(調査期間：5/10-5/31)を実施した。

調査結果から読み取れる 4 月の 1 か月間の院外処方せん発行の実態とその主な割合と傾向としては、『全て一般名で記載した処方せん』+『一般名と銘柄名を混在して記載した処方せん』の割合が 30%。詳細では、19 床以下の診療所医師と 20 床以上の病院医師を比較すると、『診療所 49%』に対し『病院 13%』と 36%の差があった。次に、【銘柄記載で変更不可にチェックを入れた薬剤名(記述)】では、記入薬剤を領域単位で集計した結果、「消化器・高血圧・呼吸器領域の 3 領域の薬剤」で 46%を占めた。

「銘柄名記載で変更不可にチェックした薬剤の基準」を見ると、全体では「患者さんからの要望」が最も高く、次いで「専門領域の薬剤」「情報提供がしっかりできている先発品メーカーが推奨する薬剤」と続く。診療所医師では「患者さんからの要望」が最も高く、病院医師では僅差ではあるが「専門領域の薬剤」が最も高かった。また、興味深い結果としては、「情報提供がしっかりできている先発品メーカーが推奨する薬剤」は、院外処方せん発行枚数別の視点で見ると、興味深い結果が出た。

以上、「院外処方せん記載に関する医師調査」は、医師の院外処方せんの薬剤名記載の実態を正確に把握することを目的に、今後の医薬品情報提供活動あり方や医師の薬剤処方への意識変化などを知るものとして弊社が独自に調査した。

今回掲載した以外にも、「一般名に変更した薬剤(記述)」「一般名に変更した薬剤基準、理由」や「一般名処方に対して懸念されることや問題点」などの調査をしております。

最後に今後も私どもエス・マックス株式会社は、製薬企業をはじめとするヘルスケア領域に属する企業のニーズに応じていくことで社会に貢献すべく製品開発・サービスの向上に力を注いでまいります。

【調査概要】

1. 調査期間：2012年5月10日～5月31日
2. 調査サンプル数：560名
3. 調査手法：インターネット調査

【会社概要】

1. 会社名：エス・マックス株式会社
2. 代表者：代表取締役社長 野田 彰
3. 本店所在地：東京都中央区日本橋 3-13-11 油脂工業会館ビル 2階
4. 主な事業内容：医師等の医療従事者を対象にした市場調査全般
5. 設立年月日：2003年6月30日

<リリースに関するお問い合わせ先>

エス・マックス株式会社 担当 佐藤 満 (サトウ ミツル)

TEL 03-5204-8720 FAX03-5204-8720 E-Mail contact@smax.co.jp

s.maX